

## 環境負荷モニタリングシステム

### 技術概要

新都市の開発段階や維持・運営段階における環境負荷発生量を、種々のセンサー・情報通信機器を利用してモニタリングし、日別、月別、年別等の各スパン毎にモニタリングの結果を表示するシステム。

### 新都市での導入効果について

環境負荷発生に情報を蓄積することで、新都市における環境負荷発生に関するデータベースを整備するとともに、それらを表示することで、新都市の市民・事業者等への環境負荷への認知をたかめる。

### 導入における課題（ 対応策 ）

環境負荷に関する情報はプライベート情報に抵触する場合もある。

関係者との協議のうえ、プライベートセキュリティに配慮したシステムを構築する。

### その他（ 導入状況・技術開発等動向・将来見込み等 ）

ライフスタイルを通じた省エネルギー効果を狙った環境負荷モニタリングシステムとして、建物における使用エネルギー表示システムがある。川崎市の市立小学校における導入時例を以下に示す。

#### 使用エネルギー表示システム導入事例

- ・ 導入場所：川崎市市立新町小学校校舎
- ・ 内容：4階建て校舎の各階に20センチ四方の「エネルギー表示器」を設置し、電気代が前年より一割以上減っていれば緑、それ以下だと黄色、増えていたら赤色で表示し、節約度合いが一目で分かるようになっている。(財)省エネルギーセンターからの助成等により表示機が導入された。

導入効果：生徒が教室やトイレの電灯を自主的に消すようになった結果、1999年度の電気代が前年度よりも1割以上削減された。また、家庭や地域での省エネルギーへの理解も進んだ。

注：各種資料により(株)エックス都市研究所作成